

エコアクション21

環境経営レポート

2024年度

運用期間 2024年7月1日～2025年6月30日

株式会社 奈須組

2025年 7月 31日 発行

【目次】

表紙	…1
目次	…2
1. 組織の概要及び対象範囲	…3
1) 事業者名及び代表者名	
2) 所在地	
3) 環境管理責任者及び連絡担当	
4) 事業創立年月日	
5) 事業活動の内容	
6) 事業規模	
7) 推進組織図	
8) 適用範囲	
2. 環境経営方針	…4
3. 環境経営目標	…5
4. 環境経営目標の実績	…6
5. 環境経営計画とその取組結果及び評価	…7
6. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	…8
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	…9
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	…10
9. 環境活動の事例	…11～

1. 組織の概要と対象範囲

1) 事業者名及び代表者名

株式会社 奈須組
代表取締役 奈須 毅

2) 所在地

本社 〒889-0304 宮崎県延岡市北浦町三川内2712番地
資材置場 〒889-0304 宮崎県延岡市北浦町三川内2735番地乙

3) 環境管理責任者及び連絡担当

EA-21 責任者：総務部 星川 育子

連絡担当者：星川 育子

TEL 0982-42-1272

FAX 0982-42-1172

E-mail：n-iku@ma.wainet.ne.jp

4) 事業創立年月日

昭和 58年 7月 5日 [創立から42年]

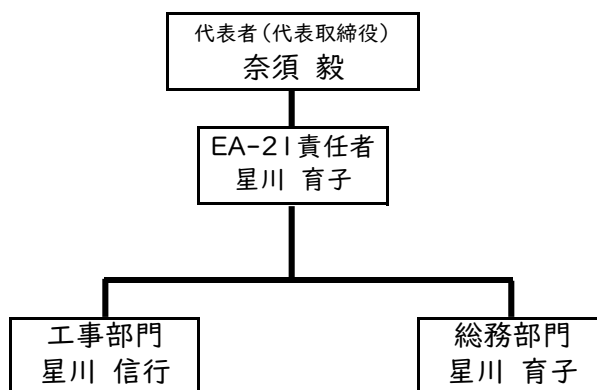
5) 事業活動の内容

建設業(土木工事業、石工事業、しゅんせつ工事業、とび・土工事業、舗装工事業、
水道施設工事業、管工事業、造園工事業、解体工事業)

6) 事業規模

項目	単位	2021年	2022年	2023年	2024年
売上高	百万円	274	387	322	249
従業員数	人	10	10	10	9
床面積	m2	96	96	96	96
倉庫床面積	m2	1600	1600	1600	1600
資機材置場床面積	m2	1000	1000	1000	1000
工事件数	件	19	40	22	37

7) 推進組織図



8) 対象範囲 [全組織・全活動]

組織……………本社、資材置場

活動……………(5)事業活動のすべて

レポート対象期間

表紙に掲載

レポート発行日

表紙に掲載

2. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

株式会社 奈須組は、地域との共生を図り、当社の事業活動が地球環境に及ぼす影響を理解し、その重要性を認識し、豊かな自然を次世代に引き継ぐため、環境経営目標及び環境経営計画を定め、環境経営の継続的な改善に努めます。

以下の事項を重点分野として、優先的に取り組めます。

1. エネルギー資源の消費量の制御によるCO₂の削減に取り組めます。
2. 廃棄物の適正な処理と、リサイクルの促進に取り組めます。
3. 事業活動による環境法令の遵守に取り組めます。
4. 水資源の使用量削減に取り組めます。
5. 環境ボランティア活動を通じて、地域環境の美化と環境意識の向上に取り組めます。
6. 工事事業においては、環境に配慮した施工計画や材料等を積極的に提案します。
7. 新技術活用や創意工夫で、安全且つ効率的な施工に努めます。

この環境経営方針は、当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に公開します。

令和3年8月1日改定

令和元年8月1日改定

平成24年9月3日改定

平成23年6月17日制定

株式会社 奈須組
代表取締役 奈須 毅

3.環境経営目標

当社の環境経営目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定いたしました。

なお、目標設定の基準は2022年度(2022年7月～2023年6月)のデータを使用しています。

取組み項目 (目標項目)(単位)	実施区	年度別環境目標				
		基準値 (2022年7月～ 2023年6月)	2023年度 (2023年7月～ 2024年6月)	2024年度 (2024年7月～ 2025年6月)	2025年度 (2025年7月～ 2026年6月)	
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	事務所	27,829.8	27,551.5	27,412.4	27,273.2	
	現場	141,984.8	140,565.0	139,855.0	139,145.1	
	全社	169,814.6	168,116.5	167,267.4	166,418.3	
			*削減率%⇒	1.0	1.5	2.0
	①電気使用量の削減 (kWh)	事務所	15,581.0	15,425.2	15,347.3	15,269.4
		現場	1,232.1	1,219.8	1,213.6	1,207.5
		全社	16,813.1	16,645.0	16,560.9	16,476.9
			*削減率%⇒	1.0	1.5	2.0
	②ガソリン使用量の削減 (L)	事務所	9,383.1	9,289.3	9,242.4	9,195.4
		現場	6,517.5	6,452.3	6,419.7	6,387.2
全社		15,900.6	15,741.6	15,662.1	15,582.6	
		*削減率%⇒	1.0	1.5	2.0	
③軽油使用量の削減 (L)	事務所	0.0	0.0	0.0	0.0	
	現場	48,986.4	48,496.5	48,251.6	48,006.7	
	全社	48,986.4	48,496.5	48,251.6	48,006.7	
2 廃棄物の削減	①. 一般廃棄物の削減 (kg) 〔目標管理対象は可燃ごみ、 とします〕	全社 (事務所)	48.5	48.0	47.8	47.5
	②. 建設副産物再資源化率の 向上を図る	現場	683.97ト 〔98.8%〕	環境経営計画を遵守し 再資源化率95.0%以上を目指す		
3. 水資源使用量の削減 (年間水資源総使用量) (m ³)			1.0	1.5	2.0	
	事務所	262.2	259.6	258.3	257.0	
	現場	0.0	0.0	0.0	0.0	
全社	262.2	259.6	258.3	257.0		
4 活動改善	①. 環境ボランティア活動 の取組推進	全社	11回	6回以上/年	6回以上/年	6回以上/年
	②. 環境配慮の取組推進	全社	環境経営計画 の遵守	環境経営計画 の遵守	環境経営計画 の遵守	環境経営計画 の遵守

*2023.8.1 改訂点

・2022年度実績を新基準値として、第五次中期(2023～2025年度)の目標値を策定した。

・電気のCO₂排出係数は、R05.1.24公表の九州電力の調整後0.389を採用した。

・削減率は、1.0% 1.5% 2.0%で取組めます。

・一般廃棄物の目標管理は、可燃ごみとし、資源ごみは実績のみ把握する。

*2023.10.26 改訂点

・基準値の数値間違いを修正

※化学物質(PRTR制度対象物質)の使用、購入、保管、移動ともありません。

※二酸化炭素排出量は下記の係数に基づき設定した。(排出量(kg-CO₂) = 使用量(A)×排出係数(B))

	使用量(A) および単位	排出係数 (B)
購入電力	kWh	0.389 (kg-CO ₂ /kWh)
ガソリン	L	2.32 (kg-CO ₂ /L)
軽油	L	2.58 (kg-CO ₂ /L)

4. 環境経営目標の実績

環境経営目標に対する達成状況は以下の通りです。

実績値は、2024年度運用期間（2024年7月～2025年6月）の12ヶ月で、目標値は基準年度（2022年度）の同期間の削減率とする。

取組項目		実施区	2024年度目標値 (2024年07月～ 2025年06月)	2024年度実績 (2024年07月～ 2025年06月)	達成率	判定	
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	kg-CO ₂	事務所	27,412.4	20,265.3	135.3%	○	
		現場	139,855.0	176,979.0	79.0%	×	
		全社	167,267.4	197,244.3	84.8%	×	
	①電気使用量の削減 (kWh)	1.0%削減	事務所	15,347.3	16,842.0	91.1%	×
			現場	1,213.6	4,004.0	30.3%	×
			全社	16,560.9	20,846.0	79.4%	×
	②ガソリン使用量の 削減 (L)	1.0%削減	事務所	9,242.4	5,911.1	156.4%	○
			現場	6,419.7	8,437.2	76.1%	×
			全社	15,662.1	14,348.3	109.2%	○
	③軽油使用量の削減 (L)	1.0%削減	事務所	0.0		—	—
			現場	48,251.6	60,405.9	79.9%	×
			全社	48,251.6	60,405.9	79.9%	×
2. 廃棄物の削減(kg)	①一般廃棄物の削減 (kg) 1.0%削減	全社	47.8	59.7	80.1%	×	
	②建設廃棄物再資源 化率の向上	現場	環境経営計画 を遵守し再資源化 率95%以上	環境経営計画の遵守 により[100% 総排出量 609.76トン]	105.3%	○	
3. 水資源使用量の削減 (m ³)	1.0%削減	全社	258.3	184.1	140.3%	○	
4 ・ 環 境 改 善 活 動	①環境ボランティア 活動の取組推進	全社	6回	20回	333.3%	○	
	②環境配慮の取組推進	全社	環境経営計画 の遵守	環境経営計画 の遵守	—	○	

※ 購入電力のCO2排出係数は、九州電力の調整後0.389(kg-CO₂/kWh)を使用しました。

※ 項目1～3の達成率(目標/実績)が100%以上で、判定は○とする。

※ 項目4の①の達成率(実績/目標)が100%以上で、判定は○とする。

5. 環境経営計画とその取組結果及び評価

2024年7月1日から～2025年6月30日までの環境活動計画とその取組結果です。

取組項目		活動内容	取組結果	評価
1・ 二酸化炭素排出量の削減	①電気使用量の削減	①不在箇所、不要箇所及び昼休み時は消灯 ②蛍光灯など照明器具を定期的に清掃 ③エアコンのフィルターの定期的な清掃 ④空調の適温化(冷房28℃・暖房22℃程度)に徹底	事務所、現場共に未達成。 現場において、作業環境の整備、安全施設等の設置があり、達成できなかった。 節電、フィルター清掃、適温化等の徹底は図れた。	○ ○ ○ ○
	②ガソリン使用量の削減	①エコドライブの徹底 ②効率の良い配車[相乗りの推進] ③運搬経路をエネルギー消費の少ない運搬を検討する。 ④不要なものを積んだままにして走行しないことを徹底 ⑤新車時にはハイブリッド車を導入	事務所は達成。現場は未達成。 遠方への通勤等が多かった。 軽油を使用する車両からガソリン車両への買い替えも少なからず影響している。	○ ○ ○ ○ -
	③軽油使用量の削減	①エコドライブの徹底 ②重機の定期点検整備の実施 ③リース車両、重機等の排ガス、ハイブリット化に努める ④作業規模や工程に応じた建設機械の種類や規格を検討し、エネルギーの消費を抑える	重機作業、水替え作業が多かったため増加により未達成。 現場での使用機械も、重機の排ガス規制の機械類を使用する。	○ ○ ○ ○
2・ 廃棄物の削減	①一般廃棄物の削減	①資源物を再利用できるように分別を徹底する ②コピーは裏紙使用、両面コピー、縮小コピー、集約コピーに努める ③詰め替え可能な製品の使用推進 ④トナーカードリッジや梱包箱などは納入業者に持って帰ってもらう	倉庫の片づけを実施したため未達成。 分別を徹底を図れた。	○ ○ ○ ○
	②. 建設副産物の再資源化率の向上	①資材搬入時には在庫を確認し、残余資材の発生を制御する ②廃棄物の処理はリサイクル業者へ依頼 ③建設副産物はマニフェストにより管理する	当年度は再資源化される廃棄物が多く達成できた。	○ ○ ○ ○
3. 水資源使用量の削減 (年間水資源総使用量)		①漏水を定期的に点検する(すべての蛇口を止めてメーターの動きを確認)	節水に心掛けて、点検も定期的に行った。	○ ○ ○ ○
改4 善・ 活環境	①. 環境ボランティア活動の取組推進	①本社及び現場周辺の環境美化活動 ②地域の環境ボランティア活動への参加	積極的に実施できた。	○ ○ ○ ○
	②. 環境配慮の取組推進	①環境に関する研究・講習への参加 ②最新型環境配慮型建設機械の使用 ③環境配慮型工法の採用、環境配慮型施工の提案 ④建設資材や一般製品のグリーン調達への推進	各現場からの提案等もあり、目標達成できた。 各々の現場で環境配慮に取り組めた。	○ ○ ○ ○

6. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

次年度(2025年度)の環境経営目標は、下記の通りです。

環境経営計画は下記の通り取り組みます。

(実施スケジュールの年間は、7月から翌年6月です。)

次年度の環境経営計画					次年度の環境経営目標
取組項目	活動内容	推進責任者	実施スケジュール		
1・二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素炭素排出量の削減	・省エネ活動の推進	環境管理責任者	年間	次年度(2025年度)の環境経営目標は、5ページに掲載しています。
	①電気使用量の削減	①不在箇所、不要箇所及び昼休み時は消灯 ②蛍光灯など照明器具を定期的に清掃 ③エアコンのフィルターの定期的な清掃 ④空調の適温化(冷房28℃・暖房22℃程度)に徹底	総務部門 星川育子	①②年間 ③④ 6月~9月 11月~3月	
	②ガソリン使用量の削減	①エコドライブの徹底 ②効率の良い配車[相乗りの推進] ③運搬経路をエネルギー消費の少ない運搬を検討する。 ④不要なものを積んだままにして走行しないことを徹底 ⑤新車時にはハイブリッド車を導入	土木部門 星川信行	①~④ 年間 ⑤随時	
	③軽油使用量の削減	①エコドライブの徹底 ②重機の定期点検整備の実施 ③リース車両、重機等の排ガス、ハイブリット化に努める ④作業規模や工程に応じた建設機械の種類や規格を検討し、エネルギーの消費を抑える	土木部門 星川信行	年間	
2・廃棄物の削減	①一般廃棄物の削減	①資源物を再利用できるように分別を徹底する ②コピーは裏紙使用、両面コピー、縮小コピー、集約コピーに努める ③詰め替え可能な製品の使用推進 ④トナーカードリッジや梱包箱などは納入業者に持って帰ってもらう	総務部門 星川育子	年間	
	②建設副産物の再資源化率の向上	①資材搬入時には在庫を確認し、残余資材の発生を制御する ②廃棄物の処理はリサイクル業者へ依頼 ③建設副産物は manifests により管理する	土木部門 星川信行	年間	
3. 水資源使用量の削減(年間水資源総使用量)		①漏水を定期的に点検する(すべての蛇口を止めてメーターの動きを確認)	総務部門 星川育子	年間	
4. 環境改善活動	①. 環境ボランティア活動の取組推進	①本社及び現場周辺の環境美化活動 ②地域の環境ボランティア活動への参加	土木部門 星川信行	随時に実施	
	②. 環境配慮の取組推進	①環境に関する研究・講習への参加 ②最新型環境配慮型建設機械の使用 ③環境配慮型工法の採用、環境配慮型施工の提案 ④建設資材や一般製品のグリーン調達推進	土木部門 星川信行	年間	

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に関連する主な法規制は下表のとおりです。

主な法規名	遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法	委託契約の締結、マニフェストの交付	遵守
	回収・照合確認(発行後B2,D票90日E票180日以内) A表の5年間保管	遵守
	産業廃棄物管理票交付等状況報告(6月30日までに知事へ報告)	遵守
	保管場所の掲示板設置	遵守
建設リサイクル法	発注者への書面による計画等説明、完了報告	遵守
	工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届け出	遵守
	分別解体、再資源化促進、再資源化により得られた資材の使用	遵守
フロン排出抑制法	・定格出力7.5kW未満の業務用エアコン等の簡易点検実施(重機搭載のエアコンを含む)	遵守
再生資源利用省令	・再生資源利用計画書・実施書の作成 ・再生資源利用促進計画書・実施書の作成	遵守
騒音規制法	・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて85デシベル以下	遵守
振動規制法	・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて75デシベル以下	遵守
大気汚染防止法	・特定工事の場合、工事の受注者は、特定工事に該当するか否かを調査し、発注者に書面で説明。調査結果記録の保全	該当工事なし
水質汚濁防止	・河川や護岸工事等をする場合は、適切な水質汚濁防止の措置を講じること。 (内水面漁業協同組合との覚書)	遵守
浄化槽法	・定期清掃、定期点検の実施 ・法定検査(第11条)の実施	遵守

当年度は、遵守状況確認を3ヶ月毎に年4回実施した結果、違反はありませんでした。

現場での遵守状況は、月1回の安全パトロールや会議等を通じて常に確認しています。

また、監督官庁からの指摘も、地域住民からの訴訟等もありませんでした。

8. 代表者による全体の評価と見直しの結果

評価項目	代表者による評価と指示(○当年度の評価、●次年度への指示)
①環境経営目標の達成状況	<p>○環境経営目標達成状況管理表等で確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力は事務所・現場ともに目標は未達成 …猛暑等により電力を多く使用 …電子納品、インターネット環境、現場作業環境の整備など今後は電力は不可欠なものとなるため、基準値の見直しを検討する。 ・ガソリンは事務所で達成、現場での年間での目標は未達成。軽油を使用する車両を売却し、ガソリン車が増えたことも要因。 ・軽油については、重機作業・水替え作業が多く増えた。工事内容により未達成ではあり、受注額は減少したが、決算繰越工事が多いため、来期以降注視する。 ・一般廃棄物…事務所の倉庫の片づけを実施し、可燃ゴミが達成できなかった。 ・水資源使用量の削減は達成できた。 ・全体CO2削減目標。各項目の達成できなかった月があるが、社員全員が意識向上を持って、取り組みができたことを評価する。繰越工事が多いため来期以降注視する。 ・ボランティアについても積極的に実施した。 ・環境配慮の取り組みも積極的に実施した。 <p>●次年度(2025年度)は、第五次中期の3年目で設定した目標値と活動計画を周知し活動していただきたい。</p>
②環境経営計画の実施及び運用結果	<p>○環境経営計画(兼)実施状況管理表で確認したが、活動内容は社員全員に周知されており、ほぼ実施されている。</p> <p>●活動の見直しが必要な活動があれば検討して改訂のこと。</p>
③環境関連法規等の遵守状況	<p>○環境関連法規取り纏め(兼)順守評価表で確認したが、当社に関連する法規等は、法改定の都度取り纏めされ、全て遵守している。</p> <p>●次年度開始時に関連法規を見直し変更部があれば改訂すること。</p>
④外部からの環境に関する苦情や要望等	<p>○環境情報記録表で確認したが、当年度は苦情・クレームが無かったこと、ボランティア活動へ積極的に20回参加したことを評価する。</p> <p>●苦情・クレームが発生したら関係者において速やかに対応すること。</p>
⑤その他、全般について	<p>○当年度も現場代理人等の提案等もあり、環境配慮の取組推進については、各々の現場において、環境に配慮した施工を行うなど積極的な活動が出来ていた。</p> <p>●次年度も継続して活動していただきたい。</p>
⑥環境経営方針	<p>○当年度では方針の不具合はなかった。 ●次年度も継続する。</p>
⑦実施体制	<p>○当年度の活動で特に不具合はなかった。 ●次年度も現行体制を継続する。</p>

9. 環境活動の事例

※五ヶ瀬川掘削工事において粉塵対策として場内散水及び路面洗浄と実施した

場内散水状況



路面洗浄状況

岡元現場出入口



残土処理場出入口付近



※五ヶ瀬川掘削工事において、台風10号通過後の道路清掃等を実施した



※五ヶ瀬川掘削工事において、現場周辺の草刈と河川内清掃を実施した

周辺草刈り状況



河川清掃状況



河川清掃状況



河川清掃状況



※五ヶ瀬川掘削工事において、多自然川づくりへの配慮として自然生態系の維持を目的とし、粒形20cm以上の石は持ち出さず水際に配置した。



【石選別状況】



【石配置状況】



【石配置状況】



【石配置状況】



※直海沢管理用道路工事において、一般道への土の流出を権限できるように現場出入口に横断ベルトを設置した。

横断ベルトの設置



※ため池等整備事業(危険ため池)稲葉崎地区Ⅰ工区の現場において、市道の整地を実施した。



※小川河川災害工事現場において、道路脇のガッターの土砂撤去を実施した。



※小川河川災害工事現場において、掘削時に発生する濁りをろ過するための沈殿槽を設置した。

